

「エコポイントの活用によるグリーン家電購入動向調査」 調査結果速報

○5月15日～6月末までの3製品のグリーン家電選択率は、
地デジ対応テレビ 84.6%、エアコン 68.9%、冷蔵庫 76.8%

○「エコポイントによって購入が早まった」…地デジ対応テレビで4割

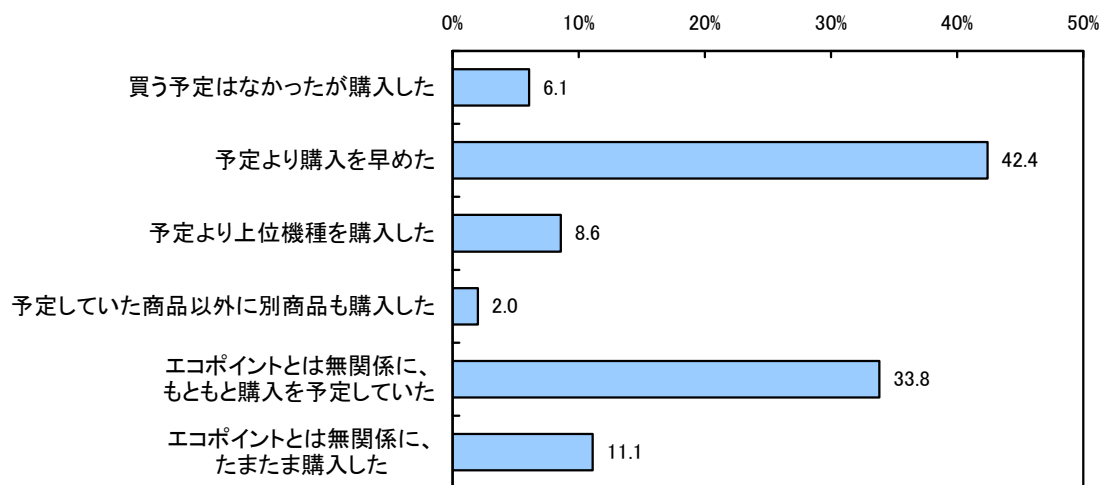
シード・プランニングでは、家電購入におけるエコポイントの影響を探るべく、全国の生活者を対象に7月1日～5日にWebアンケート調査を実施した。

今回は、購入者400人(5月15日～6月末までに、地デジ対応テレビ、エアコン、冷蔵庫の3製品のいずれか1つ以上を購入)と、購入予定者400人(今後2年以内に3製品のいずれかの購入を予定している)を対象とした。

この結果、購入者400人のうち、78.3%(313/400)がエコポイント対象商品、いわゆるグリーン家電を購入したことがわかった。選択率は、地デジ対応テレビ 84.6%(198/234)、エアコン 68.9%(91/132)、冷蔵庫 76.8%(73/95)と、地デジ対応テレビが最もその選択率が高い。

そのうち、「予定より購入を早めた」とする人が、地デジ対応テレビでは 42.4%(84/198)とエコポイント効果が顕著となっている。ちなみに、エアコンでは 33.0%(30/91)、冷蔵庫では 24.7%(18/73)がこれに該当する。

エコポイントは「地デジ対応テレビ」の購入にどの程度影響したか (n=198)



一方、3製品いずれかを購入する予定の400人のうち、39.5%(158/400)が機種選択の重視点として「エコポイント対象商品」を挙げている。製品別では、地デジ対応テレビが 41.4%(140/338)、エアコン 34.2%(39/114)、冷蔵庫 40.0%(40/100)である。

今回の調査では、どの程度エコポイント制度について認知しているか、人気の高い交換商品は何か、エコポイント制度への評価やエコへの意識等について質問した。また、購入者と購入予定者の動向についてそれぞれ3製品別にクロス集計を行い、今後の需要への影響を分析する。

詳細は、7月21日発刊予定の調査レポート(CD-ROM版)

エコポイントの活用によるグリーン家電購入動向調査をご覧ください。